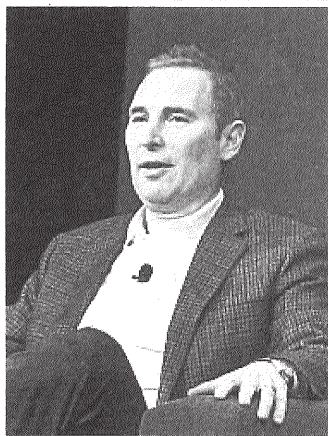


「クラウド、アマゾンけん引」

「結果、同システムに1年で1万の顧客がついた。次はさらなる機能をより簡単にという要望が出てくる。今年にはAIの最新潮流である強化学習に対応をした。もっと簡単に、アマゾンのアルゴリズムを使えさえすればいい」との声にも応じた。

アマゾン・ウェブ・サービス(AWS)。米アマゾン・ドット・コムが展開するクラウドサービスを手掛ける子会社。調査会社のカナリスによると2018年7～9月のシェアは3割を超える。サーバーなどを置いたデータセンターを企業に貸し出す。2017年12月の売上高はアマゾン全体の約1割に達する。営業



アマゾン子会社AWSのアンディ・ジャシーCEO

米アマゾン・ドット・コムの時価総額が3日、866億ドル(約95兆円)を超え、一時、米アップルを上回り首位になった。利益のけん引役はクラウド事業。業界首位のクラウド事業の次は戦略は何か。ジェフ・ベゾス最高経営責任者(CEO)の「右腕」とされ、クラウド子会社、アマゾン・ウェブ・サービス(AWS)のCEOを務めるアンディ・ジャシー氏に聞いた。

AWSのジャシーCEO AI・AR食欲に取り込む

「今後数年で、社会のほぼすべてのアプリケーションソフトにAI技術がかかわっていくと我々は確信している。今は人員と資金力がある限られた大企業しか開発ができていない。小さな企業でも開発者が日々、AIに対応できるシステムが必要と考える。『セーメーカ』と呼ぶクラウドでの簡易AI開発システムを昨年投入した」

「結果、同システムに1年で1万の顧客がついた。次はさらなる機能をより簡単にという要望が出てくる。今年にはAIの最新潮流である強化学習に対応をした。もっと簡単に、アマゾンのアルゴリズムを使えさえすればいい」との声にも応じた。

日本経済新聞 2018年12月5日

ICT(情報通信技術)できめ細かい介護をした。介護従事者の負担を減らす取り組みが進んできた。介護大手のHITOWAケアサービス(東京・港)はパナソニックと人工知能(AI)やセンサーの活用で組み、施設入居者の体調変化を細かく把握する。人手不足など介護現場の負担増を背景に、最新技術を活用する「介護テック」が立ち上がりつつある。

有料老人ホームなどの介護施設を140カ所以上展開するHITOWAケアサービスはパナソニックと提携し、今秋、東京・練馬に有料老人ホームを開いた。パナソニッ

「介護テック」現場負担軽く

AIで体調把握、見回り軽減



アズパートナーズのシステムは、職員が入居者の状況をスマホで確認できる

「HITOWAとパナソニック」のシステムを導入し、動いている際は、職員が各部屋にセンサーを設置。居室を訪問し、転倒しな置。入居者の心拍や呼吸が全く感知できない際もデータとしてクラウド上に集め、AIで分析する。入居者の動きは事務室で確認できる。入居者が必要がなくなり、職員の負担が軽くなる。

体の動きを通じ、睡眠リズムも把握できる。昼夜の生活が逆転した高齢者に、昼間に適切な運動プログラムを提供し、夜間の熟睡を促すなど、最適なケアプラン(介護計画)作成に役立てる。映像解析技術で介護職員の動きを分析し、業務効率化を図ったり、入居者の歩行速度の変化などからより適切な介護サービスの提供につなげたりする実験も進める計画だ。

介護業界は人手不足に悩まされている。10月のパートタイムを含む常用の有効求人倍率は、4.18倍で全体の1.49倍を大きく上回る。厚生労働省は団塊の世代が75歳以上となる25年度末までに、約34万人の介護人材が不足すると試算する。介護現場はパソコンなどの電子機器の導入が遅れているとされる。ICT導入で職員の負担を軽減できれば、採用面でも有利に働く。高齢者の自立支援につながるようなプログラムの提供など、サービスの質向上にもつながるとあって、各社は導入に力を入れている。

首都圏で有料老人ホームなどを展開するアズパートナーズ(東京・千代田)は、パラマウントベッドホールディングスが導入したベッドセンサーへの販売も進める。

巨額のれん減損懸念



反対派株主

武田創業家の一部

創業一族の武田和久氏「写真」を中心としたOB株主らが反対する最大の理由は財務リスクの拡大だ。根拠とするのは、シャイアー買収後に発生する6兆円規模の有利子負債と配当原資となる企業の1株利益(EPS)の減少だ。武田薬品は1株当たり180円という

配当を長年続けてきたが、財務状況の悪化を理由に、今後、配当を減らす可能性を最も危惧している。

会社側は借り入れや社債で約3兆円を調達する計画を公表。資金調達については情報開示しているが「返済方法について全く触れていない」と

シャイアー巡りきょう総会決議

武田薬品工業は5日、アイルランド製薬大手シャイアー買収の是非を問う臨時株主総会を開く。武田の創業家の一部株主などが反対しているが、多くは賛成派で買収は承認される公算が大きい。ただ、7兆円弱という日本最大のM&A(合併・買収)は財務リスクが膨らみかねない。経営陣は未だくすぶる懸念をどう払拭し、成長戦略を改めて示せるかが問われる。

総会ではシャイアー株を最大の焦点は、巨額買収をどう株主に納得させる。早ければ2019年1月8日に買収手続きを完了させる方針だ。

財務リスク払拭も課題

買収後	
売上高	3兆4700億円
ITDA	1兆1000億円
一キャッシュフロー	8000億円の黒字
有利負債	5兆4000億円
れん	4兆2000億円
究開発費	4000億円

は、当初の予想ベースで武田が5000億円、シャイアーが1兆5000億円で計2兆円となる見込みで新規の3兆円を合わせ5兆円超に膨らむ。さらに買収後は将来の減損リスクとなるのれんが4兆円規模に増える。それでも武田は買収後に「EBITDA(利益)に「税引き・償却前利益」が現在の3倍に拡大する」「年間14億のコスト効果がある」などと、リスクを上回るメリットを強調する。武田にとっは、がん、消化器、神経疾患との既存領域に新薬が4兆円規模に増える。それでも武田は買収後に「EBITDA(利益)に「税引き・償却前利益」が現在の3倍に拡大する」「年間14億のコスト効果がある」などと、リスクを上回るメリットを強調する。武田にとっは、がん、消化器、神経疾患との既存領域に新薬が4兆円規模に増える。

作成スピード・正確さ競う

プログラミング王決定戦

AtCoder(東京・渋谷、高橋直大社長)は、インターネット上でプログラミングコンテストを定期開催してきた。日本経済新聞社が連携し、参加者が一堂に集い腕を競うコンテストをスタートさせる。(一面参照)

コンテストでは、プログラマーを組む時間の短さや正確さなどを競います。使用できるプログラミング言語は「Java(ジャバ)」や「C++(シーplusplus)」など。バリエーションの多い50種類以上です。

2019年1月27日のオン

米マリOTT、ス

経営側譲歩、情報

【ニューヨーク】西郷マリOTTの加盟する「ユニティ・インターナショナル系」ホテルで従業員約8000人が参加したストライキが3日、開始から約2カ月を経て終結した。労働環境の改善などを求めた労働組合にマリOTTは加盟するマリOTT従業員は労使契約の更新交渉だ。世界最大のホテルチェーンが従業員の待遇改善に動いたことで、業界に影響が及がりそうだ。

「人生を一変させる労使契約を勝ち取った」。3日午後5時。サンフランシスコのマリOTT従業員が加盟する「ユニティ・インターナショナル系」の組合員は、99.6%の賛成票で会社提案の受諾を可決した。

ストのきっかけは米労働組合「ユニティ・ヒア」に加盟するマリOTT従業員は労使契約の更新交渉だ。世界最大のホテルチェーンが従業員の待遇改善に動いたことで、業界に影響が及がりそうだ。

日経広告賞の贈賞式

クボタが大賞受賞

第67回日経広告賞(2018年)の贈賞式が4日、クボタの会場で開かれた。大賞を受賞したクボタは、2018年度の受賞企業を決めた。表彰式は19年2月4日に経団連会館経団連ホールで開く。

【グランプリ】シノテストなど

グッドカンパニー大賞

中小企業研究センター(東京・台東、前田晃伸理事長)は経営や技術開発などに優れた中小企業を表彰する「グッドカンパニー大賞」の2018年度の受賞企業を決めた。表彰式は19年2月4日に経団連会館経団連ホールで開く。